

令和4年8月19日

## 校訓から生き方を再考する

南九州市立浮辺小学校  
校長 石川 雅実

人が憂うと書いて優になります。人は憂いを経験し、人に優しくできるのかもしれませんが。憂いのない人生などありませんから、人は皆、人に優しくできるはずです。そういう人こそが優れている人だと思います。

困っている人、助けを求めている人、誹謗中傷に苦しんでいる人には手を差しのべる、寄り添う、思いやりのある言葉をかけるといった当たり前のことを当たり前に、勇気を出して行動に移したいものです。優しさとは思いやりに溢れた強さだと思います。

浮辺小学校の校訓は「かしこく、ただしく、たくましく」です。子供たちには明るく元気に、心身共に健康に過ごしてほしいと思います。また、他者を思う優しい気持ちや周囲への感謝を忘れず、日々の生活を送ってほしいと思います。さらに、目標に向かって最後まで、困難に負けず、粘り強くやり遂げることのできる人間に成長してほしいと願います。

コロナ禍の昨今、改めて校訓から多くのことを学び直しました。